付録-５　詳細点検報告書作成要領

目　次

ページ
１．点検調書(その１)横断歩道橋の諸元と総合検査結果 1
２．歩道橋保全更新計画策定シート 2
３．点検調書（その２）径間別一般図 4
４．点検調書（その３）現地状況写真 5
５．点検調書（その４）要素番号図及び部材番号図 8
６．点検調書（その５）損傷図 9
７．点検調書（その６）損傷写真 10
８．点検調書（その７）損傷程度の評価記入表（主要部材） 11
９．点検調書（その８）損傷程度の評価記入表
（点検調書（その７）に記載以外の部材） 12
10．点検調書（その９）対策区分判定結果（主要部材） 13
11．点検調書（その 10）対策区分判定結果
（点検調書（その９）に記載以外の部材） 14
12．Ｅ判定会議調書 15
13．Ｅ判定一覧 16
14．点検調書（その 11）技術的な評価結果及び特定事象の有無の評価 17

点検調書（その１）　横断歩道橋の諸元と総合検査結果

・本市DBより、引用すること。

緯度	34°43′47″	横断歩道橋ID	34.7297222 ,135.515556
経度	135°30′56″		

フリガナ 名　称	ｸﾆｼﾞﾏﾎﾞｳｷｮｳ 柴島歩道橋		路 線 名	府道大阪高槻京都線		管　轄	大阪市	管理番号	東淀川5
所 在 地	自	東淀川区柴島3丁目	距 離 標	自	―		十三工営所	調書更新年月日	2017年1月19日
	至	東淀川区柴島3丁目		至	―			最新点検年月日	2016年10月16日

供用開始日	1968年 3月	橋長	25.70	活荷重・等級	―	等橋	適用示方書	1965年横断歩道橋設計指針								交通条件	調査年月	H22年
上部構造形式	I型下路式			幅員	全　幅　員	1.90	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線		車道幅・車線		歩道幅	地覆幅	中央帯	中央分離帯	歩道橋利用者数	― 人
					有 効 幅 員	1.50	0.20	1.50	―	―	―	―	―	0.20	―	―		昼間　時間
下部構造形式	円形支柱			備考														
基礎形式	直接基礎																	

・総合判定と合わせ、段階を表示すること。

総合検査結果

健全度 （横断歩道橋単	Ⅰ

予防保全段階
横断歩道橋の構造の機能に支障が生じていない状態である。

〔橋梁概況〕　本橋は、1968年3月に供用が開始された単純I型下路式の横断歩道橋である。 2015年7月に塗装塗り替えが実施されている。

・全体的な所見を述べる

〔主な損傷状況〕

〈上部工主要部材〉

・損傷が生じている部位、状況を詳細に表現すること。
・特に損傷が生じるメカニズムを可能な限り表現すること。

〈下部工主要部材〉

・損傷の種類で、直接通行機能に障害がなくても、損傷判定上、部位部材ごとで「Ⅲ」（e－ⅱやe－ⅲなど）判定が付されるものもあるため、損傷判定上、「Ⅲ」評価が生じたものについては、本調書内に必ず、コメントを残すこと。

〈その他部材〉

根巻きコンクリート：ひびわれ(大小)-d
蹴上げ：腐食（小小）-b、防食機能の劣化-e、その他（析出物）-e

●歩道橋保全更新計画策定シート

・本市DBより、引用すること。

①歩道橋の概要

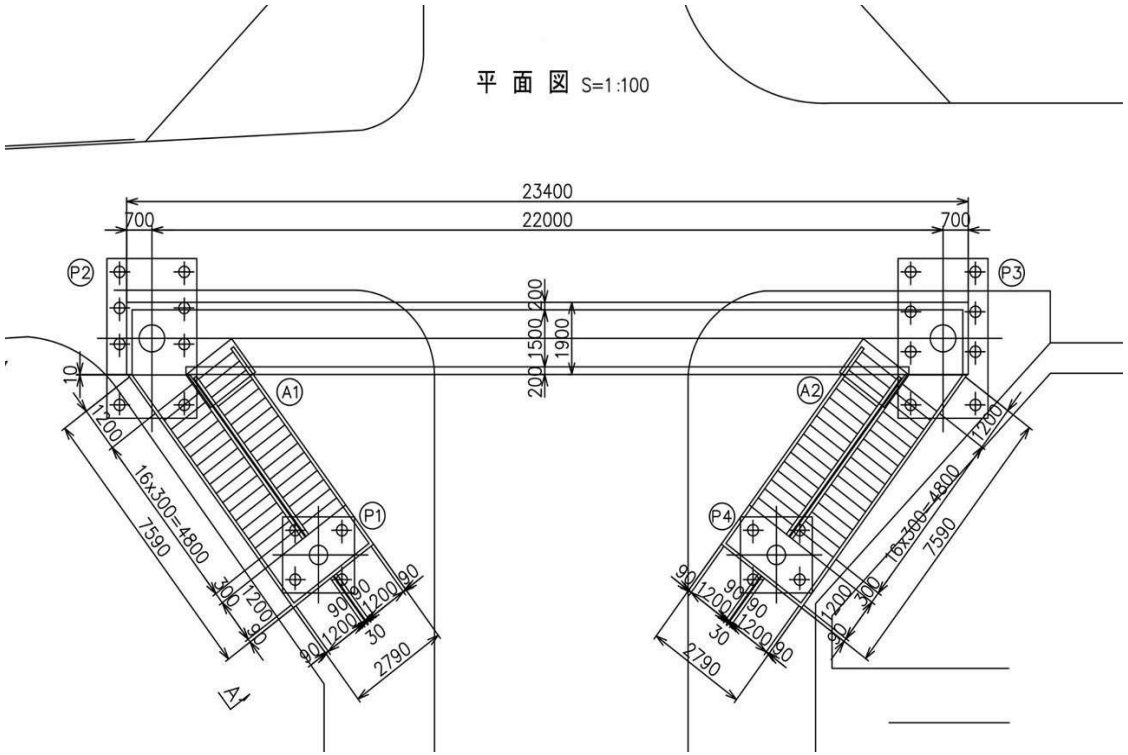
1．基本諸元

橋名	江口南歩道橋	建設年	1972 年 （47年経過）	行政区	東淀川	工営所	十三工営所	橋長(m)	23.40	有効幅員(m)	1.50	面積(㎡)	35.10	施設管理No.	東淀川2
路線種別	府道	路線名	府道大阪高槻線	緊急交通路指定	指定無し	交通量	13,018 台	大型車交通量	27.7 %	適用示方書	1965年横断歩道橋設計指針				
構造形式	上部： Ｉ型下路式		下部： 円形支柱		基礎： 直接基礎										

2．一般図・写真

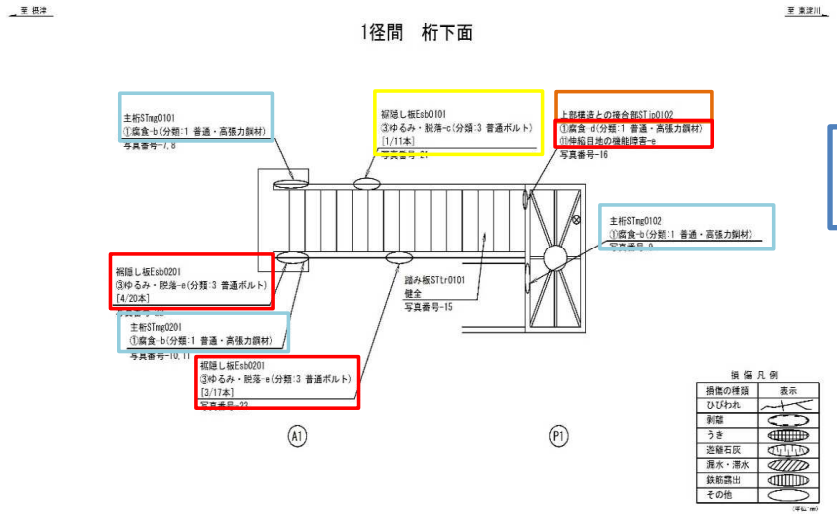
○一般図

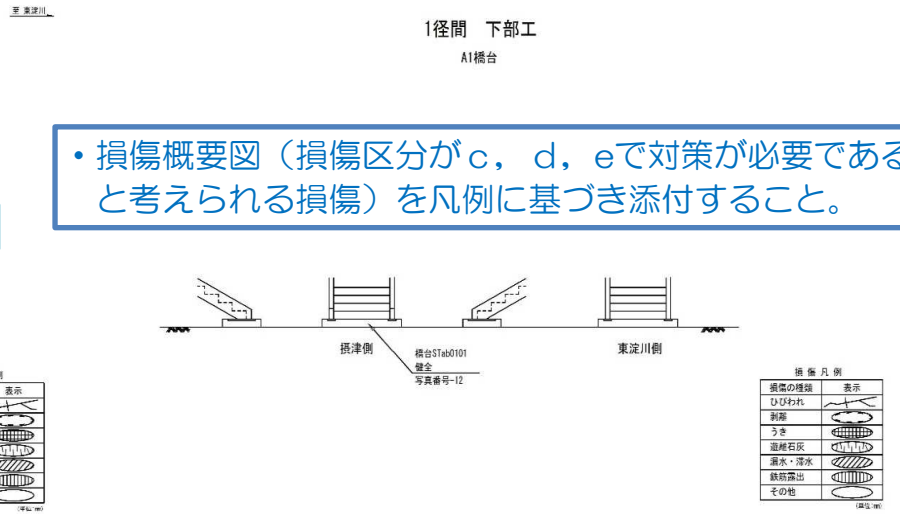
一般図、現地写真を貼付



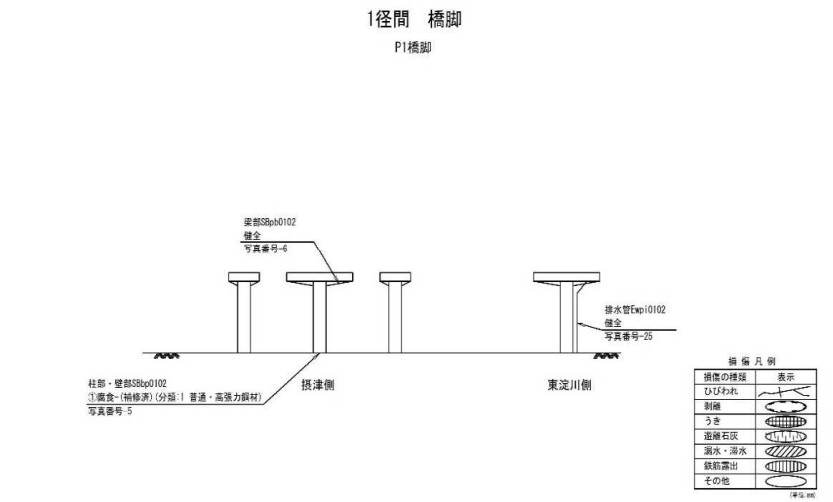
○全景写真

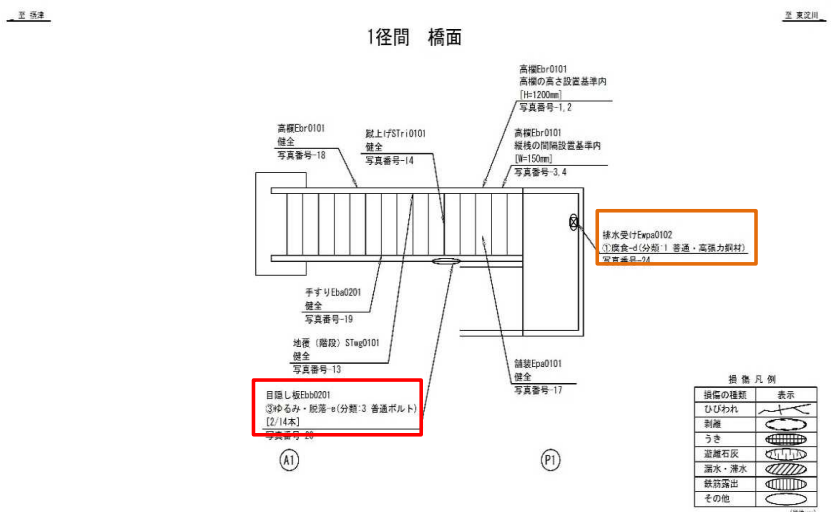
②損傷概要図（損傷区分がｃ，ｄ，ｅで対策が必要であると考えられる損傷）





- 損傷概要図（損傷区分がｃ，ｄ，ｅで対策が必要であると考えられる損傷）を凡例に基づき添付すること。





※損傷区分に右のような着色を行うこと。

e	d	c	b	a

大 ←―― 損傷 ――→ 小

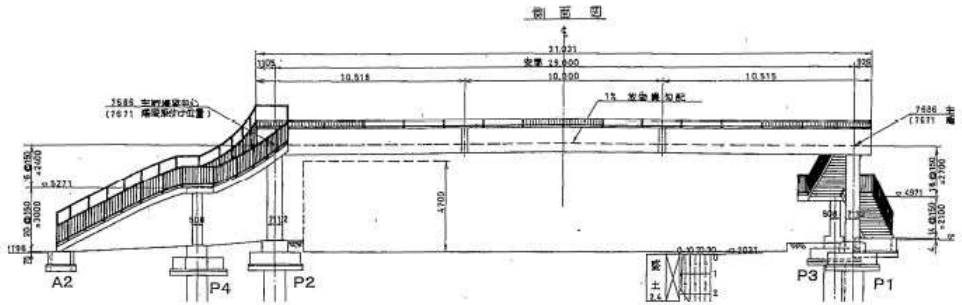
点検調書（その２）　径間別一般図	径 間 番 号	1

緯度	34° 43′ 47″	横断歩道橋ID	34.7297222 ,135.515556
経度	135° 30′ 56″		

フリガナ 名　称	ｸﾆｼﾞﾏﾎﾞﾄﾞｳｷｮｳ 柴島歩道橋	路 線 名	府道大阪高槻京都線	管　轄	大阪市	管理番号	東淀川5
所 在 地	自　東淀川区柴島3丁目	距 離 標	自　－		十三工営所	調書更新年月日	2017年1月19日
	至　東淀川区柴島3丁目		至				

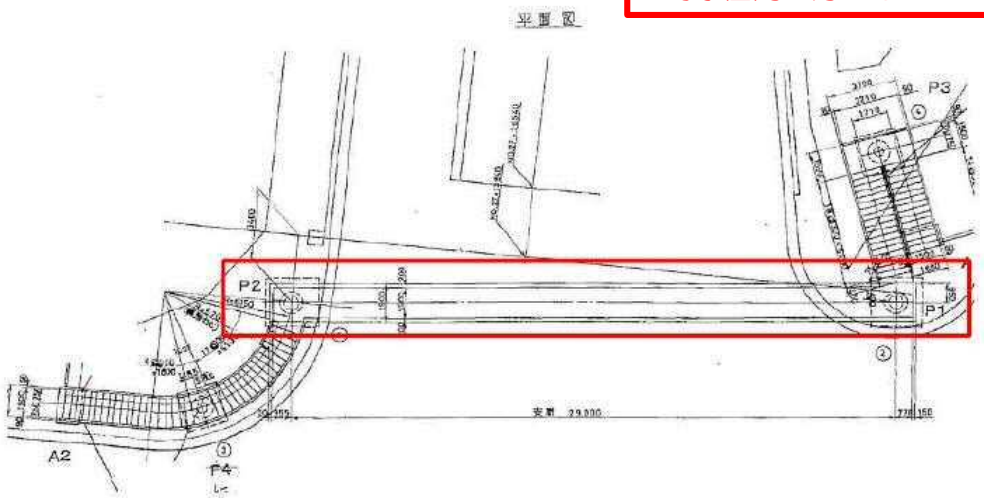
・全体平面図を貼付すること。

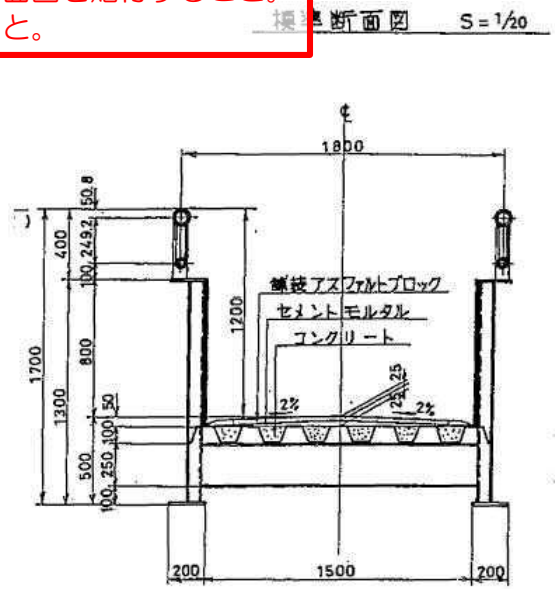
全体図



一般図

・対象径間だけを取り出した平面図・断面図を貼付すること。
・対象径間が分かるように赤囲みすること。





点検調書（その３）　現地状況写真	径 間 番 号	1

緯度	34° 43′ 47″	横断歩道橋ID	34.7297222 ,135.515556
経度	135° 30′ 56″		

フリガナ 名　称	ｸﾆｼﾞﾏﾎﾞｳｷｮｳ 柴島歩道橋	路 線 名	府道大阪高槻京都線	管　轄	大阪市	管理番号	東淀川5
所 在 地	自　東淀川区柴島3丁目	距 離 標	自　－		十三工営所	調書更新年月日	2017年1月19日
	至　東淀川区柴島3丁目		至				

・各径間単位で、部位ごとに撮影する

現地状況写真

写真番号	1	撮影年月日	2016/10/16
径間番号	1	メ	モ
写真説明	路面	全景写真	

写真番号	2	撮影年月日	2016/10/16
径間番号	1	メ	モ
写真説明	側面	全景写真	

写真番号	3	撮影年月日	2016/10/16
径間番号	1	メ	モ
写真説明	桁下面	全景写真	

写真番号	4	撮影年月日	2016/10/16
径間番号	1	メ	モ
写真説明	P1橋脚	全景写真	

点検調書（その３）　現地状況写真	径 間 番 号	1

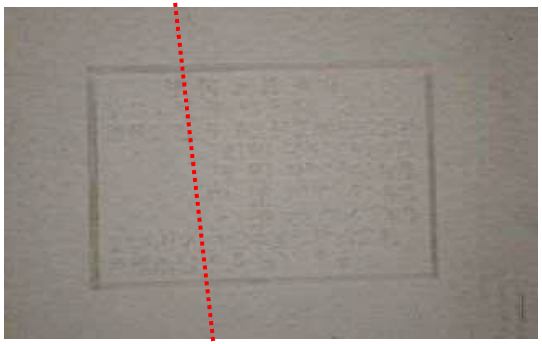
緯度	34° 43′ 47″	横断歩道橋ID	34.7297222 ,135.515556
経度	135° 30′ 56″		

フリガナ 名　称	ｸﾆｼﾞﾏﾎﾞｳｷｮｳ 柴島歩道橋	路 線 名	府道大阪高槻京都線	管　轄	大阪市	管理番号	東淀川5
所 在 地	自　東淀川区柴島3丁目	距 離 標	自　－		十三工営所	調書更新年月日	2017年1月19日
	至　東淀川区柴島3丁目		至				

・歩道橋に設置されている歴板等も全て撮影すること。
・また、点検調査時に実施する状況写真も含わせて、貼付すること。

現地状況写真

写真番号	5	撮影年月日	2016/10/16	写真番号	6	撮影年月日	2016/10/16
径間番号	1	メ	モ	径間番号	1	メ	モ
写真説明	P2橋脚	全景写真		写真説明	塗装歴	全景写真	



写真番号	7	撮影年月日	2016/10/16	写真番号	8	撮影年月日	2016/10/16
径間番号	1	メ	モ	径間番号	1	メ	モ
写真説明	橋歴板	全景写真		写真説明	通水確認状況	結果-異常なし	

点検調書（その３）　現地状況写真	径 間 番 号	2

緯度	34° 43′ 47″	横断歩道橋ID	34.7297222 ,135.515556
経度	135° 30′ 56″		

フリガナ 名　称	ｸﾆｼﾞﾏﾎﾄﾞｳｷｮｳ 柴島歩道橋	路 線 名	府道大阪高槻京都線	管　轄	大阪市	管理番号	東淀川5
所 在 地	自　東淀川区柴島3丁目	距 離 標	自　－		十三工営所	調書更新年月日	2017年1月19日
	至　東淀川区柴島3丁目		至				

・点検に付帯する規制状況や作業状況写真を添付すること

現地状況写真

写真番号	9	撮影年月日	2016/10/16	写真番号	10	撮影年月日	2016/10/16
径間番号	2	メ	モ	径間番号	2	メ	モ
写真説明	規制状況	全景写真		写真説明	作業状況	全景写真	

写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日	
径間番号		メ	モ	径間番号		メ	モ
写真説明				写真説明			

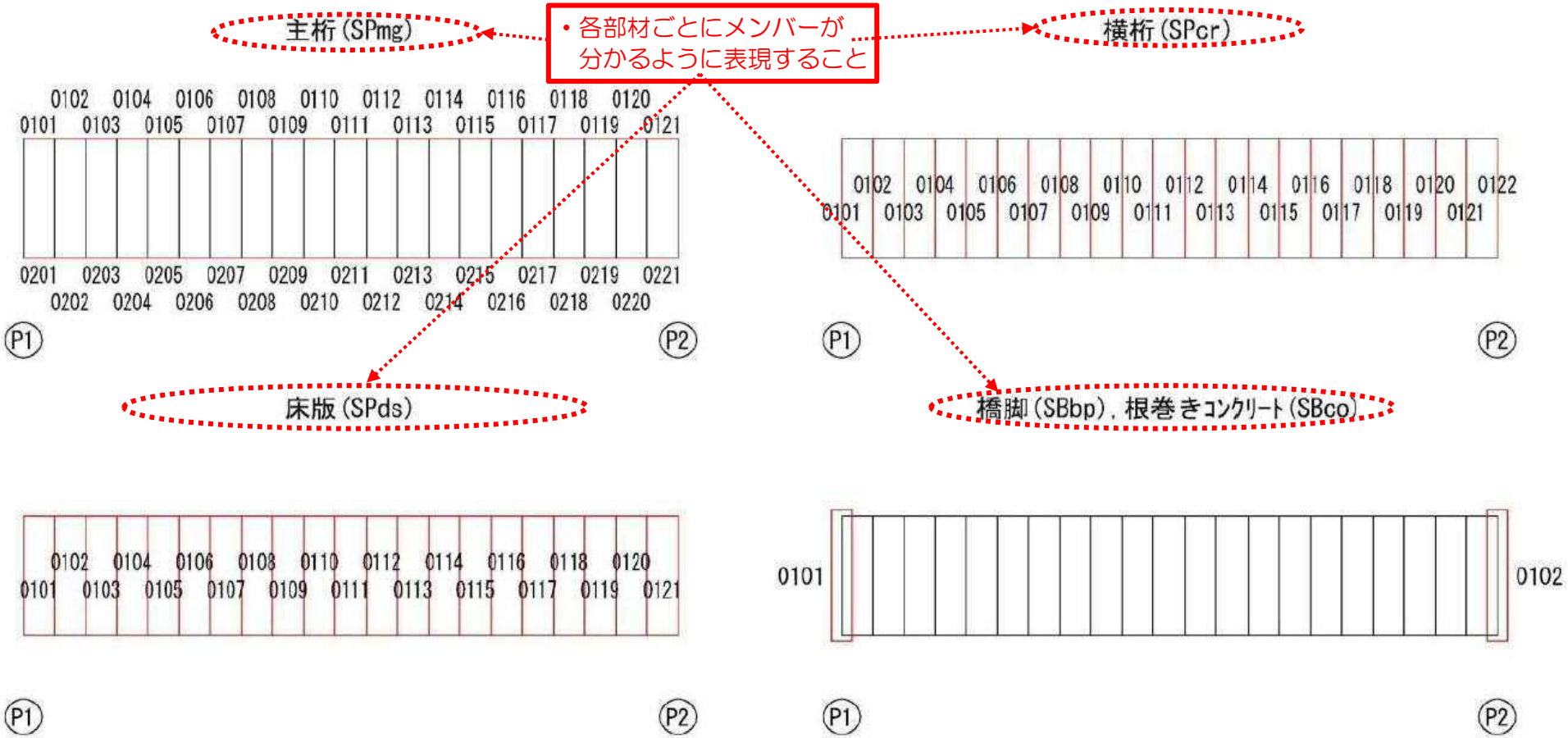
点検調書（その４）　要素番号図及び部材番号図	径 間 番 号	1

緯度	34° 43′ 47″	横断歩道橋ID	34.7297222 ,135.515556
経度	135° 30′ 56″		

フリガナ 名　称	ｸﾆｼﾞﾏﾎﾄﾞｳｷｮｳ 柴島歩道橋		路 線 名	府道大阪高槻京都線		管　轄	大阪市	管理番号	東淀川5
所 在 地	自	東淀川区柴島3丁目	距 離 標	自	－		十三工営所	調書更新年月日	2017年1月19日
	至	東淀川区柴島3丁目		至	－				

要素番号図及び部材番号図

【要素番号図】



点検調書（その5）　損傷図	径 間 番 号	1

緯度	34° 43′ 47″	横断歩道橋ID	34.7297222 ,135.515556
経度	135° 30′ 56″		

フリガナ 名　称	ｸﾆｼﾞﾏﾎﾞｳｷｮｳ 柴島歩道橋	路 線 名	府道大阪高槻京都線		管　轄	大阪市	管理番号	東淀川5
所 在 地	自	東淀川区柴島3丁目	距 離 標	自	―	十三工営所	調書更新年月日	2017年1月19日
	至	東淀川区柴島3丁目		至	―		最新点検年月日	2016年10月16日

損傷図

- 損傷図に記載する場合は、必ず損傷写真が貼付されていること。
- あまりにも細かくなり、煩雑化する場合は、
  同一損傷で括って、複数の写真番号を貼付するなど工夫すること。

- 損傷の情報は、
  - 部位
  - 部材要素
  - 損傷の種類
  - 損傷評価
  - 写真番号

  の5点を1セットにして書き込むこと

凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ(0.2以上)		ひびわれ(0.2未満)	
剥　離		遊離石灰	
鉄筋露出		漏　水	
う　き		豆板	
変形・欠損		その他	

点検調書（その6）

・1つの写真で複数の損傷を表現しているときは、すべてを表記する

緯度	34° 43′ 47″	横断歩道橋ID	34.7297222 ,135.515556
経度	135° 30′ 56″		

フリガナ 名　称	ｸﾆｼﾞﾏﾎﾞｳｼｮｳ 柴島歩道橋		路 線 名	府道大阪高槻京都線	管　轄	大阪市	管理番号	東淀川5
所 在 地	自	東淀川区柴島3丁目	距 離 標	自　－		十三工営所	調書更新年月日	2017年1月19日
	至	東淀川区柴島3丁目		至　－			最新点検年月日	2016年10月16日

・引きとｱｯﾌﾟで写真を分けるときには、必ず、連番で写真番号を付すこと。

損傷写真

写真番号	1	径間番号	1	撮影年月日	2016/10/16
部材名	主桁	要素番号	0103	メ	モ
損傷の種類	その他	損傷程度	e	分類6（落書き）	

m

写真番号	2	径間番号	1	撮影年月日	2016/10/16
部材名	橋脚	要素番号	0102	メ	モ
損傷の種類	腐食	損傷程度	e	e iii 前回(H25)点検結果 腐食-△ 写真-13	

写真番号	3	径間番号	1	撮影年月日	2011/9/1
部材名	主桁	要素番号	0201	メ	モ
損傷の種類	腐食	損傷程度	e	前回(H23)点検結果 腐食-■　写真-1’	

写真番号	4	径間番号	1	撮影年月日	2016/10/16
部材名	主桁	要素番号	0201	メ	モ
損傷の種類	腐食	損傷程度	a	補修済	

・損傷の有無に関わらず、重要部材に位置付けられているものは、すべて撮影すること。
・その他要領に記載されている「注意すべきポイント」にある「高欄高さ」「縦さん間隔」などの写真も撮影すること。

点検調書（その７）　損傷程度の評価記入表（主要部材）	径 間 番 号	1

緯度	34°　43′　47″	横断歩道橋ID	34.7297222 ,135.515556
経度	135°　30′　56″		

フリガナ 名　称	ｸﾆｼﾞﾏﾎﾄﾞｳｷｮｳ 柴島歩道橋	路 線 名	府道大阪高槻京都線		管　轄	大阪市	管理番号	東淀川5
所 在 地	自　東淀川区柴島3丁目	距 離 標	自	－		十三工営所	調書更新年月日	2017年1月19日
	至　東淀川区柴島3丁目		至	－			最新点検年月日	2016年10月16日

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷ﾊﾟﾀｰﾝ	損傷の種類	分類
		名　称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
S	S	主桁	SPmg	0109	e				その他（落書き）	6
S	S	主桁	SPmg	0111	e				その他（落書き）	6
S	S	床板	SPds	0102	b				腐食	

・１つの写真で複数の損傷を表現しているときは、すべてを表記すること
・これらと「点検調書（その６）損傷写真」の記載が一致すること。

点検調書（その８）　損傷程度の評価記入表 （点検調書（その７）に記載以外の部材）	径 間 番 号	1

緯度	34°　43′　47″	横断歩道橋ID	34.7297222 ,135.515556
経度	135°　30′　56″		

フリガナ 名　称	ｸﾆｼﾞﾏﾎﾄﾞｳｷｮｳ 柴島歩道橋	路 線 名	府道大阪高槻京都線	管　轄	大阪市	管理番号	東淀川5
所 在 地	自　東淀川区柴島3丁目	距 離 標	自　－		十三工営所	調書更新年月日	2017年1月19日
	至　東淀川区柴島3丁目		至　－			最新点検年月日	2016年10月16日

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷 ﾊﾟﾀｰﾝ	損傷の種類	分類
		名　称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
P	C	根巻コンクリート	Sbco	0101	b	W=0.1, L=150	mm		ひびわれ	

・「点検調書（その7）」と同様に、
　１つの写真で複数の損傷を表現しているときは、すべてを表記すること
・これらと「点検調書（その６）損傷写真」の記載が一致すること。

点検調書（その9）　対策区分判定結果（主要部材）	径 間 番 号	1

緯度	34° 43′ 47″	横断歩道橋ID	34.7297222 ,135.515556
経度	135° 30′ 56″		

フリガナ 名　称	ｸﾆｼﾞﾏﾎﾞｳｷｮｳ 柴島歩道橋		路 線 名	府道大阪高槻京都線		管　轄	大阪市	管理番号	東淀川5
所 在 地	自	東淀川区柴島3丁目	距 離 標	自	－		十三工営所	調書更新年月日	2017年1月19日
	至	東淀川区柴島3丁目		至	－			最新点検年月日	2016年10月16日

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分									診断結果			
							損傷軽微・経過観察			補修等の必要性				緊急対応の必要性		原　因		健全度 (部材単位)	所　見
							損傷軽微	経過観察（予防保全）		補修対応									
		名称	記号	部材番号	最大	最小	a～c損傷 (区分A、B)	m損傷 (区分M)	d iii、e iii 損傷 (区分C1)	d ii 損傷 (C2)	更新	e ii 損傷 (C2)	更新	e i 損傷 (E1orE2)	更新	確定	推定		
S	S	主桁	SPmg	01	e	e		その他								⑦その他		Ⅱ	落書き
S	S	主桁	SPmg	02	e	e		その他								⑦その他		Ⅱ	落書き
S	S	横桁	Ssb	13	c	c	防食機能の劣化									⑥材料劣化		Ⅰ	経年劣化により機能劣化が見られる
S	S	床板	SPds	00	b	b	腐食									⑥材料劣化		Ⅰ	経年劣化により腐食が見られる
S	S	床板	SPds	00	c	c	防食機能の劣化									⑥材料劣化		Ⅰ	経年劣化により機能劣化が見られる

・「点検調書（その7）（その8）」より、部位部材毎に再集計。

・健全度は、E判定会議の結果を踏まえて記載すること

点検調書（その10）　対策区分判定結果 （点検調書（その9）に記載以外の部材）	径 間 番 号	1

緯度	34° 43′ 47″	横断歩道橋ID	34.7297222 ,135.515556
経度	135° 30′ 56″		

フリガナ 名　称	ｸﾆｼﾞﾏﾎﾞｳｷｮｳ 柴島歩道橋	路 線 名	府道大阪高槻京都線	管　轄	大阪市	管理番号	東淀川5
所 在 地	自　東淀川区柴島3丁目	距 離 標	自　―		十三工営所	調書更新年月日	2017年1月19日
	至　東淀川区柴島3丁目		至　―			最新点検年月日	2016年10月16日

工種	材料	部材種別		損傷の程度		対策区分									診断結果			
						損傷軽微・経過観察			補修等の必要性				緊急対応の必要性		原　因		健全度 (部材単位)	所　見
						損傷軽微	経過観察（予防保全）		補修対応									
		名称	記号	最大	最小	a～c損傷 (区分A、B)	m損傷 (区分M)	d iii、e iii 損傷 (区分C1)	d ii 損傷 (C2)	更新	e ii 損傷 (C2)	更新	e i 損傷 (E1orE2)	更新	確定	推定		
P	C	根巻ｺﾝｸﾘｰﾄ	Sbco	b	b	ひびわれ											Ⅰ	ひびわれが見られる。

・「点検調書（その7）（その8）」より、部位部材毎に再集計。

・健全度は、E判定会議の結果を踏まえて記載すること

E判定会議調書

・前回点検時になかった損傷では空白でよい。

・左記写真を補足する図があれば掲載

施設管理No.	東淀川5	路線名	府道大阪高槻京都線	行政区	東淀川	ID	34.7297222 ,135.515556
橋梁名	柴島歩道橋	緊急交通路		工営所	#REF!	点検年月日	2016年10月16日
上部構造形式	I型下路式	下部構造形式	円形支柱	橋長	25.7m	建設年	1968

損傷写真

写真番号		径間番号		撮影年月日	2016/10/16	写真番号	2	径間番号		撮影年月日	2016/10/16
前回点検結果				部材名		今回点検結果				部材名	
				主桁						主桁	
				部材番号						部材番号	
										1902	
				損傷の種類						損傷の種類	
										⑯その他	
				損傷度評価						損傷度評価	
										m	
				メ	モ					メ	モ
										落書き m	

写真番号	18	径間番号		撮影年月日	2016/10/16	写真番号	9	径間番号		撮影年月日	2016/10/16
前回点検結果				部材名		今回点検結果				部材名	
				橋脚						橋脚	
				部材番号						部材番号	
				102						102	
				損傷の種類						損傷の種類	
				⑤ひび割れ・漏水・遊離石灰						⑤ひび割れ・漏水・遊離石灰	
				損傷度評価						損傷度評価	
				e						e	
				メ	モ					メ	モ
										e iii	

【補足写真】

・調書(その6)で掲載した時の
写真番号をそのまま転記すること。

平面図

側面図

断面図

・要因等が分かるものについては、対策工法も含めて記載する

【原因と対策工法（案）】

損傷の種類	考えられる原因
⑤ひび割れ・漏水・遊離石灰	ひび割れの放置により橋脚地際部の腐食が発生

■ 歩道橋定期点検Ｄ・Ｅ判定結果一覧表　　対象施設数?　0橋

施設諸元				定期点検結果																	進捗管理						
管理コード	歩道橋名	分類	建設年西暦	点検年度	点検実施年月	施設健全度	径間番号	工種	材料	部材種別				損傷の程度		対策区分	損傷番号	損傷評価基準	部材健全度	所　見	対応の方針	予定年度		実施年度		対策内容	備考
										名称	記号	部材番号	写真番号	最大	最小							設計	対策	設計	対策		
							・赤枠内を転記すること。																				

点検調書（その11） 技術的な評価結果及び特定事象の有無の評価	径 間 番 号	1

緯度	34° 43′ 47″	横断歩道橋ID	34.7297222 ,135.515556
経度	135° 30′ 56″		

フリガナ 名　称	ｸﾆｼﾞﾏﾎﾄﾞｳｷｮｳ 柴島歩道橋	路 線 名	府道大阪高槻京都線	管　轄	大阪市	管理番号	東淀川5
所 在 地	自　東淀川区柴島3丁目	距 離 標	自　－		十三工営所	調書更新年月日	2017年1月19日
	至　東淀川区柴島3丁目		至			最新点検年月日	2016年10月16日

・想定する状況に対する状態をABCから選択して記録する。

構成要素名	上部構造

・構成要素毎に記載すること。

部材種別				部材種別			
名称	記号	部材番号	写真番号	名称	記号	部材番号	写真番号
主桁	Spmg	01	2				
損傷の種類	⑯その他			損傷の種類			

・調書(その6)で掲載した時の写真番号をそのまま転記すること。

部材種別				部材種別			
名称	記号	部材番号	写真番号	名称	記号	部材番号	写真番号
損傷の種類				損傷の種類			

・「12）E判定会議調書」及び「13）E判定一覧」と整合するように表記すること、

想定する状況における部材の技術的な評価

想定する状況			
活荷重	地震	その他	
		（　　）	（　　）
A	A	－	－

特定事象等の有無（有もしくは無）

塩害	防食機能の低下	目地部からの漏水	その他	
			（　　）	（　　）
無	無	無	－	－

緊急対応の必要性（有もしくは無）		維持工事等対応の必要性（有もしくは無）		調査の必要性（有もしくは無）			
				詳細調査		追跡調査	
e i	無	m	無	S1	無	S2	無

所見

・所見には「健全性の診断の区分」の決定に大きく関わる技術的見解について、措置に対する考え方との関連性がわかるように記載すること。

・合理的な維持管理に資する目的で、特定事象への該当の有無を記録する。